

のろし

令和8年 5月 1日発行

静岡古城研究会

第286回見学会

「関原峠周辺遺構を踏査する」

－関原峠砦・洞山遺構・七覚五社権現遺構－

開催のご案内

会員の皆様こんにちは！城ネコこと事務局長の望月です。冬物を片付け始めた矢先、静岡市では気温が30度を超える夏日を記録するなど、寒暖差の激しさに辟易してしまう今日この頃です。

さて、今年度も様々な見学地を巡ってまいりましたが、今回は(も?)なかなかハードな内容です。今回は近年、山梨県中央市でその存在が確認された関原峠砦、洞山遺構と七覚五社権現に残る曲輪遺構、これらの謎多き遺構を参加者の皆さんと一緒に歩き、遺構から想定される意味、可能性、疑問など“考える”踏査会にしたいと考えております。

現地で皆さんの「城論」「城観」を元に導き出されたご意見をお聞きできるのを楽しみにしておりますので、ふるってのご参加をよろしくお願いいたします。

- ☆ 実施日 令和8年(2026)5月17日(日)
- ☆ 見学地 関原峠砦遺構・洞山遺構・七覚五社権現遺構
- ☆ 担当者 望月 徹 事務局長・望月保宏 会長
- ☆ 参加費 会員6,000円、非会員7,000円
- ☆ バス 市沢さんのバス
- ☆ 脚力レベル ★★★★★(5)
- ☆ 申込方法 お名前、電話番号を明記の上、
s-kojouken@outlook.com まで
- ☆ 申込締切 5月13日(水)
- ☆ 定員 28名
- ☆ 身支度 ハイキング程度の服装(滑りにくい靴・雨具)弁当、飲み物等
- ☆ 悪天候時、午前6時時点で中止をお知らせします

やってほしい見学会大募集！

事務局では会員のみなさんの「こんな見学会やってほしい!」「あの城に行きたい!」を募集しております。昨年の「関ヶ原シリーズ」のように会員さんの「行きたい!」を来年以降の計画に反映させて参りますので、ご意見をどしどしお寄せ下さい♪

宛先: s-kojouken@outlook.com

☆日 程（予定）

8 : 00	JR 静岡駅北口集合、バス出発
8 : 15	日本平久能山スマート IC→清水 JCT→中部横断自動車道
9 : 30	増穂 PA（トイレ休憩）
10 : 00	YSKe-com シルクパーク駐車場
12 : 00	関原峠砦（昼食）
14 : 30	洞山遺構
15 : 30	七覚五社権現遺構
16 : 00	YSKe-com シルクパーク駐車場
16 : 30	増穂 IC→中部横断自動車道→清水 JCT→東名高速道路→日本平 久能山スマート IC
18 : 00	静岡駅南口着・解散

（主な見学地概要）

【関原峠砦遺構】

豊富村から下芦川地区へ越える関原峠の東側、標高 891m に位置する砦。史料・伝承は無く、『甲斐国志』の項中に天正壬午の乱の頃「関砦」を置き守兵に守らせたとの一文を確認できるのみである。先行研究では宮坂武男氏の調査により一部は確認され「砦か不明」としながらも紹介されている。近年、中央市豊富郷土資料館の館長である内藤和久氏を中心とした地元研究者グループの調査により主郭部と考えられる土塁・虎口等の遺構などが改めて確認された。

【洞山遺構】

令和 5 年に内藤和久氏らの研究グループにより関原峠砦の東側より北に下る、甲府市と中央市の境にある標高 764m の尾根上で発見された遺構であり、メディアでも紹介され話題となった。

遺構は東側直下に中道往還や右左口宿、金刀比羅山砦を見下ろせる位置にあり、険しい尾根伝いに南北 170m、東西 20m と細長く、南北に堀切・土橋が確認されている。2024 年に八巻孝夫氏ら中世城郭研究会の調査では「遮断施設または宗教施設の可能性」も指摘されている。

【七覚五社権現遺構】

大宝 2 年、役小角の開山と伝わる円楽寺（山号七覚山）が明治の神仏分離まで管理していた五社神社で、その構成は熊野・白山・金峰・箱根の五所を指す。観応の擾乱、永正期の今川氏による侵攻など合戦の舞台として戦火に巻き込まれており、五社権現背後の山に削平された数段の曲輪とおぼしき遺構などが見られる。



図3 七社五社権現周辺の遺構 (内華作図)

洞山の遺構